

第58回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和5年10月27日（金） 13:00-15:00

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

常田座長、関委員、永田委員、山崎委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

風木局長、渡邊審議官、松本参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

上田課長

鈴木室長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

佐々木理事

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS）

國中所長

藤本副所長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構国際宇宙探査センター

山中センター長

小川部長

川勝プロジェクトマネージャ

筒井総括

4. 議事要旨

(1) 宇宙技術戦略（宇宙科学・探査）に関する考え方（案）について

前回に引き続き、宇宙技術戦略に関する考え方について（案）について議論を行った。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

○地上からのアクセス等、輸送分野との調整・連携も必要ではないか。

○優先順位付けや時間軸の考え方の整理が必要ではないか。

(2) 宇宙科学プロジェクトの進捗状況について

JAXAよりMMX（火星衛星探査計画）等の宇宙科学・探査ミッションの進捗や今後のスケジュールについて資料2を用いて、報告があった。

委員から、工程表について以下のような意見があった。

（○：意見等）

○今後の打上げスケジュールや国際連携状況の確認。

○諸外国の動向や H3 ロケットの状況等を勘案しつつ MMX の打上げタイミングについて柔軟かつ丁寧な検討が必要。

(3) 宇宙基本計画工程表の改訂について
毎年度実施する宇宙基本計画の工程表の見直しの方向性について事務局より説明があった。

(4) 有人と圧ローバの構想の検討状況について
有人と圧ローバについて、JAXA から、資料 4 を用いて、検討状況の説明があった。

委員から、工程表について以下のような意見があった。

(○：意見等)

○科学ミッションとの連携、有人ローバに搭載する機器等、ユーザー側と開発側のすり合わせを段階的にかつ着実に進めていく有効ではないか。

(5) ポスト ISS の地球低軌道活動の在り方について
ISS 及びポスト ISS の検討状況について、JAXA から、資料 5 及び参考資料 2 を用いて報告があった。

委員から、工程表について以下のような意見があった。

(○：意見等)

○米国の商用ステーション等の、国際状況を踏まえながら議論が必要。

○科学面での利用を継続していくという観点も必要。

○今後も継続的に状況を確認したい。

以 上